

製品名: CYP1A1/2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09629**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP1A1/CYP1A2
別名	CYP1A1; Cytochrome P450 1A1; CYPIA1; Cytochrome P450 form 6; Cytochrome P450-C; Cytochrome P450-P1; CYP1A2; Cytochrome P450 1A2; CYPIA2; Cytochrome P(3)450; Cytochrome P450 4; Cytochrome P450-P3
遺伝子 ID	1543/1544
SwissProt ID	P04798/P05177
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 1A1/2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

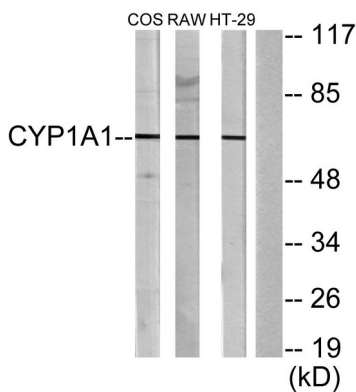
背景

この遺伝子 CYP1A1 は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在し、その発現は一部の多環芳香族炭化水素 (PAH) によって誘導されます。PAH の一部はタバコの煙にも含まれています。この酵素の内因性基質は不明ですが、一部の PAH を発がん性中間体へと代謝することができます。この遺伝子は肺がんのリスクと関連付けられています。関連ファミリーメンバーである CYP1A2 は、15 番染色体上で CYP1A1 から約 25 kb 離れた位置にあります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2016 年 1 月],触媒活性: RH + 還元フラビントタンパク質 + O(2) = ROH + 酸化フラビントタンパク質 + H(2)O,補因子: ヘム基,機能: シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼのグループです。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与しています。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係な様々な化合物を酸化します。誘導: 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-p-ジオキシン (TCDD) による。オンライン情報: CYP1A1 アレル,オンライン情報: CYP1A1 エントリ,オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース,類似性: シトクロム P450 ファミリーに属する。組織特異性: 肺、リンパ球、胎盤、

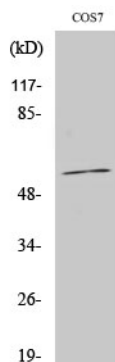
研究分野

ステロイドホルモンの生合成、トリプトファン代謝、レチノール代謝、シトクロム P450 による異物代謝

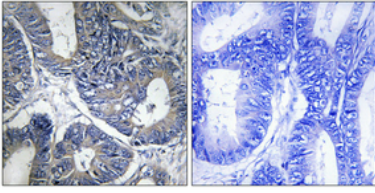
画像データ



COS7、RAW264.7、HT-29細胞のライセートをシトクロム P450 1A1/2 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CYP1A1/2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。